

「変わってみたい」という挑戦の先には、
出会ったことのない自分がいた



ビヨンドトゥモロー エンデバー2023 応募受付中

社会的養護の下に暮らす高校生たちによる、自分の未来への挑戦
【高校卒業後の進学準備のための奨学金給付を含みます】



内容

- ①年間を通じた人材育成プログラムへの参加（参加に係る費用は主催者が負担します）
- ②高校卒業後の進学にむけた受験費用の支給（最大10万円）

対象者

応募時点で児童養護施設などの社会的養護の施設または里親家庭に暮らしている
高校1年生、2年生、及びジャパン未来リーダーズサミット2022参加者（選考あり・詳細
は応募要項参照のこと）

応募方法

2023年1月6日（金）（必着）までに必要書類を郵送

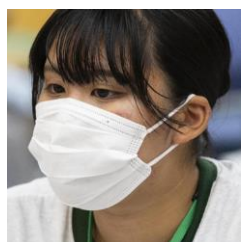
選考方法

1次選考 書類選考
2次選考 オンライン面接
※2次選考前に保護者を対象とした面談を行います。詳細は、1次選考通過者に通知します

「エンデバー」は英語で「実現への試み」を意味し、18世紀の探検家キャプテン・クックの南太平洋探検の第1回航海の際の帆船の名前でもあり、1992年～2011年に宇宙を飛行したスペースシャトルの名称でもあります。

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金

ビヨントゥモローは、様々な社会経済的な事情により、困難に直面した若者が、将来、広い視野と、他者の心の痛みに想いを馳せる「共感力」を持つグローバル・シティズン（地球市民）となる過程を応援する、人材育成事業です。



“ビヨンドは、普段なら交流できない人々との活動や社会全体の視野を広げてくれる場。自分が大きく変わるチャンスを与えてくれました。”

M.S.（千葉県立八千代西高等学校）

幼い頃に大好きだった父を亡くし、経済的な理由から家族と離れ、児童養護施設に入所。内気な性格で、人前に出たり、言いたいことを言ったりする事ができない自分を脱し、自分に自信が持てるようになりたいと強く思い、ビヨントゥモローへの参加を決めた。将来は保育士の資格を取得し、児童養護施設の職員になることで、自分と同じような境遇の子供達一人ひとりに寄り添うことができるようになりたいと思っている。



“ビヨンドを通して、「逆境を経験した自分」だからこそ伝えられることがあるのではないかと感じました”

R.H.（小松島高等学校）

父の死、母の病気を経験し、里親家庭に暮らす中で、病院食を考える管理栄養士という職業に関心をもった。ビヨントゥモローに参加することで、幅広い選択肢を知り、自分の将来を考えていきたい。そして色々な人とコミュニケーションを図り、自分の視野を広げていきたいと考えてエンデバーに参加した。将来は、管理栄養士の資格をとり、食の知識を持ったうえで、子ども食堂に携わりたい。そして、自身の幼い頃の貧困の経験も生かしながら、子供たちに寄り添い、栄養バランスのとれた食事を提供したいと思っている。

ビヨントゥモロー エンデバー2023の活動内容（開催期間：2023年3月～2024年3月）

人材育成プログラム

1年間の人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

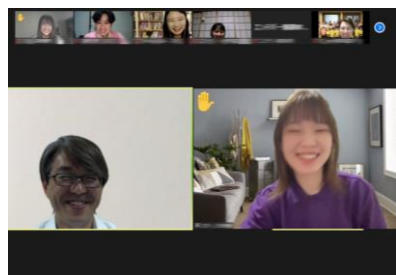
人材育成プログラム過去事例（2023年度のプログラム内容とは異なる可能性があります。）

- ・沖繩スプリングプログラム 沖繩の地で多様性について考えチームで提言を発表する（2022年3月）
- ・オンラインスピーカーセッション 将棋棋士 羽生善治氏、認定NPO法人夢職人 岩切準氏 など（2022年5月、6月）
- ・サマーリトリート 高校生が多様なフィールドワークを通して将来の選択肢を広げる 開催地：長野県（2022年8月）
- ・ジャパン未来リーダーズサミット 全国からリーダーを志す学生が集い提言を作成する 開催地：東京都（2022年10月）

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

進学準備奨学金給付

2023年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2023年度に高校2年次に在籍している方は2024年度受験時に10万円を上限に支給）。



各界のリーダーから学ぶ



自分達の考えをプレゼンテーション



仲間とのディスカッション



沖繩の海でアクティビティ

名称 一般財団法人教育支援グローバル基金
住所 〒150-0041 東京都渋谷区松濤1-26-18園ビルディング1F
電話番号 03-5453-8030
ファックス 03-6745-9100
電子メール info@beyond-tomorrow.org
ウェブサイト <https://beyond-tomorrow.org/>



Instagram



ホームページ

(現高校1年生、2年生対象)
ビヨントゥモロー エンデバー2023 【応募要項】

社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生を主対象とし、彼らが将来、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す過程を応援する「ビヨントゥモロー エンデバー2023」への参加者を募集します。本事業は、進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給するだけでなく、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国から集う様々な想いを持つ若者が、広い視野から自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援します。

【主催】一般財団法人教育支援グローバル基金 【プログラム期間】2023年3月～2024年3月（1年間）

【プログラム内容】 エンデバー2023は、以下の活動から成る、1年間の包括的なプログラムです。

1. 人材育成プログラム

1年間に4～10回程度開催される人材育成プログラム（内、集合研修形式の対面プログラムは数回）を通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。これらのプログラムは、奨学金給付にあたり原則参加必須となります。

人材育成プログラム（対面）開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

- 第1回 オリエンテーション・プログラム 開催地未定 2023年3月28日(火)～30日(木)（予定）
- 第2回 サマー・リトリート2023 開催地未定 2023年8月予定
- 第3回 ジャパン未来リーダーズサミット2023 東京開催 2023年11月予定
- 第4回 総括・まとめ 開催地未定 2024年3月予定

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

人材育成プログラム（オンライン）開催スケジュール：年数回開催（2022年度は4回実施）

2. 進学準備奨学金給付

2023年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、大学入学共通テスト検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2023年度に高校2年次に在籍している方は、奨学金給付は2024年度に支給）。

【応募資格】 下記条件を満たすこと。

- 1 応募時点で、児童福祉法に基づき、児童養護施設などの施設に暮らしている、または都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしている、またはジャパン未来リーダーズサミット2022に参加経験があること。
- 2 応募時点で高校1年次、または2年次に在籍していること。
- 3 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- 4 2023年3月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。

【選考方法】

1 次選考：書類審査

2 次選考：オンラインでの面接試験（応募者本人）

※2次選考の前に、保護者（施設長／里親など）を対象とした面談（対面もしくはオンライン）を行います。

※最終合格者には、施設長の発行する在籍証明書または里親委託証明書（児童委託証明書）を提出いただきます

（サミット2022参加者を除く）。書類内容を確認の上、応募資格を満たしていることが認められない場合には合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却いたしません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。1つの施設から複数名の応募が可能です。

- 1 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）
- 2 保護者（施設長／里親など）からの推薦状（厳封のこと）

【裏面に続く】

【締切】 2023年1月6日（金）必着

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

1月6日（金）	応募締切（必着）
1月上旬	1次選考合格者への合格通知および2次選考案内送付（不合格者には通知はありません）
1月中旬	保護者（施設長／里親など）とのオンライン面談を実施
2月4日（土）	2次選考 オンラインでの面接（応募者本人のみ）
2月中旬	最終合格者発表 応募者本人及び保護者（施設長／里親など）に通知します

※本プログラムの合格者は、2023年3月28日（火）～30日（木）（予定）に開催されるオリエンテーション・プログラム（集合対面形式を予定）への参加が義務づけられています。詳細は確定次第追ってご連絡いたします。

【送付先】 応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
「ビヨンドトゥモロー エンデバー2023係」 行

局留め郵便のため、宅急便などでの送付はできません。

【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎（代表理事） 小林 正忠	元高知県知事 楽天グループ株式会社 常務執行役員 チーフウ ェルビーイングオフィサー
	木山 啓子 本庄 竜介 村瀬 悟	特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士

評議員	塩崎 恭久 宮城 治男 山崎 直子	前衆議院議員 NPO 法人 ETIC. 創業者 宇宙飛行士
-----	-------------------------	-------------------------------------

アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵 櫻井 本篤	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授 前ジャパンソサエティーNY 理事長
--------	-------------------------	--

監事	上滝 賢二	元日本放送協会理事
----	-------	-----------

【問い合わせ】 一般財団法人教育支援グローバル基金

電子メール：info@beyond-tomorrow.org 電話：03-5453-8030 ファックス：03-6745-9100

ビヨンドトゥモロー エンデバー2023
保護者（施設長／里親など）による推薦書
（保護者の方がご記入の上、厳封ください）

志願者氏名	
-------	--

ビヨンドトゥモロー エンデバー2023 は、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ高校生を応援しています。選考にあたり、志願者のこれまでの背景や、日常生活における所見、志願者の人柄など、当財団が選考にあたって志願者について知ることが有用と思われる情報について下記にできるだけ具体的にご記入ください。紙面が足りない場合は、裏面または別紙に記載してください。

日付（西暦）

住所

電話番号

推薦者氏名

印

（該当するものに✓をつけてください）

志願者との関係

- 本人が居住する施設の施設長 都道府県知事により委託された里親
 保護者

施設名（社会的養護の施設に暮らしている場合）

本状は必ず保護者の方がご記入の上、厳封してください。